

2014年6月11日

文責：今聡基

【日時】2014年6月11日（水） 13時00分～15時00分

【場所】大阪大学豊中キャンパス OSIPP 棟 6階 プロジェクト研究室

【議題】・GLP 関連科目についての途中経過のご報告

（木川田先生より「世界は今」、その他）

木川田の報告から

国際教養科目「世界は今：」途中経過の報告

- ① プログラムの紹介とプロセス
- ② 多人数受講クラスの維持向上
- ③ ワークショップ型授業の効用の三点について

- ① プログラムの紹介とプロセス

一般教養科目で身についたもの ×リーダーシップ
リーダーシップのプログラムの必要性があった

変革期をタフに乗り切れる人材の養成 しかし具体的なプログラムはない
東大・京大では 具体的なリーダーシッププログラムの開講がされている
例) 夏季短期留学の実施 (東大) セミナー (京大)
歴史のあるプログラムだが 聞く講義 (慶応)
女性のリーダーシップ (お茶の水)

問題点 自分のリーダーシップをデザインする、ワークショップ型が日本に少ない

- ◎大学が学生に求めるもの・足りないもの
主体性・グローバルな視点・積極性・独創性・コミュ力
- ◎企業が学生に求めるもの・足りないもの
人格的な成熟度の不足・主体性にかける・打たれ弱い

- ワークショップ型の授業でリーダーシップを教えることで、これらの能力を身につけさせられないか？

② 多人数受講クラスの維持向上

授業の課題 欠席が多い←出席が厳しい 今季 欠席が少ない
出席率98%という実績

実践的 workshop 型授業の真価

- 1 未知への挑戦（発表を全員に）
 - 2 新たな気づきを得る
 - 3 衝突を收拾する能力
- ◎講師から3つの約束 能力向上の「場」 成長するヒント 輝く
◎受講生への5つの期待 対話する 傾聴する 表現する 身につける 信頼する

③ ワークショップ型授業の効用

最先端の知見 一部の生徒をアメリカに連れて行き、リーダーシップによる Innovation と Collaboration を体感

スタンフォード大学では・・・

ヨーロッパの大学とのコラボもできる
教員と学生でプロジェクトを行う

B スクールの学生 高給だが社会をよくしたのか？

スタンフォード大学の D スクールの創設←阪大の目指すところ

実際に阪大の学生がスタンフォードに行き D スクールに留学した生徒もいた（阪大でイベントも行った）

自分たちで考えたものをカタチに 教室の机も学生がデザイン デザインカ
エンジェルが来て資金提供

日本人の起業家精神は最下位 学生の時代に自分のミッション・ビジョンを考えるべき
Mission Vision Passion の MVP で優れたリーダーに

阪大生の MVP は？ 阪大の授業内での実施

自分たちの考えを創る・読んだリーダーシップの本を発表

ビデオで学ぶ→ブレインストーミング→発表

チーム発表の反省

最終回に「阪大スタイル」のリーダーシップ像をデザインする 実際の行動につなげる
レポート 添削し改善させる

結論 1について 多様な経験でリーダーシップが身につく←いかに材料を用意するか
2について 相互にケアをさせる
3について 仲間ができてその後の行動につながる

ディスカッション

大澤 受講学生の学部や男女バランスは？

木川田 バランスをとっている 男女も振り分ける

大澤 なんのためにリーダーシップを身につけるか、という学生の認識と教員の訴え

木川田 自分の生き様、自分が良く生きるために、組織のよさを発揮するためにはリーダーシップを リーダーは一人 リーダーシップは全員

大澤 自分がどうやってよく生きるかを考えることが重要 教養というのは人間が身につけなければならない 人間が「個」に目覚め、どう生きるのがよいかを考えるようになったとき教養が生まれた ×難しい知識なのではない
自分がどのように生きるべきかを考えるときに、リーダーシップを学ぶことが必要、という学生の見解に共感

木川田 自分らしく生きるためのはりーだーしっふ必要 世の中を感知して、傍観者ではなく主体的に動くことが重要

金 工学部でリーダーシップの授業をやる そのときに説明したのは「周りに説明して共感させ周りを動かすことと」説明 どっちが正しいのか

木川田 あえて学生には説明しない 考えさせる

大澤 最近読んだ本に、伝統のある家に生まれた優秀な者が、専門家になる 40や50になって自分がなんのために生きていたかわからなくなった 自分がなぜそれをやるのかを考えた 自分には受け継ぐべきものがある 阪大生は頭がいいが、自分が何をしたいのかわかっているのだろうか あるときに同じ状況になってしまうのでは
授業をとおしてどう生きるかを見つけられればいい

木川田 教養として 日本史や中世の文学を学生にすすめている

大澤 先生の一覧をみると教養としていろいろなものを学ぶ中で、自分の生き方がみえてくるのでは 法律のみ学んできた自分にはその視点が欠けていたのでは

木川田 阪大生が読むべき100冊の本というのがある 中世の文学の書評を書いてすすめている 書評大会の動画開始(教員と学生で書評バトル)

前井 書評のよさで勝負?

木川田 いえ売り上げです リーダー足るもの教養を身につけるべき こういう活動もやっている ビデオの編集は教員がおこなった

野村 いつの写真?

木川田 先々週 残り6名

野村 次の刺客は国共の教員から

木川田 授業やっていて楽しい 学生の目の輝きがある 授業後の学生の質問が絶えない
金 阪大スタイルのリーダーシップとは

木川田 いかはんからモテはんへ 異端を恐れない・やんちゃな阪大生

大澤 いかはんとは?

木川田 いかはん 議事録をとっている今くんのような感じで
SONYの創業者 サントリーの方を紹介して、みんなの先輩は異端児だったと伝える 経済的価値だけでなく社会的価値を生み出した阪大卒業生 No いかはん モテはん

金 阪大スタイルのリーダーシップに興味がある

前井 会社で自分のリーダーシップを考えろといわれた 自分の強いところは毎日発揮できて、楽しい 弱いところは周りに助けてもらう いろんな人がいる個性を生かすのがよ

いと感じる 強みを発揮できるリーダーシップが自分にとって幸せ 周りのひとにその強みをいってもらいと嬉しい それぞれの個性を生かして協力してやるのがいい

木川田 授業でもフィードバックをもらう 学生が自身をもつ 人間は他人の評価をきにする フィードバックは重要 組織の中でリーダーシップをとったときはこまめにフィードバック コンサル時代もフィードバックをこまめにやっていて、一日幸せになる

野村 実践でもフィードバックやっている

前井 実践 GL の合宿のときに出発の朝に、いいリーダーシップを発見したらかくということをやればよかった

野村 ポストイトでやろうかな

木川田 授業でよかったチームのなにがよかったかを学生に書いてもらう フィードバックになれる・観察力が身につく

野村 評価者の名前がわかる？

木川田 だれかはわからない チーム名はわかる チームでまとめたものを発表

野村 創意工夫に満ちている なかなか真似できない
一同同意

野村 ありがとうございます では実践 GL へ

今聡基 発表

①実践 GL の現状 リーダーシップを発揮されてきた方をお呼びし、与えられた役割を反省を繰り返し果たしている・合宿も学生が運営している

②実践 GL での変化 運営や当事者の大変さを痛感→うまく全体に役割分担することに注意してみる 夢への情熱・海外志向といったリーダーシップとは関係のないことでも心の変化がみられた

③実践 GL の課題 ファシリテーターとファーストスピーカーの役割をどう位置づけるか 役割がないときにいかにリーダーシップを発揮できるか

前井 役割のみしか動いていないイメージがあったが、実際合宿にいくとみんなが積極的に動いていてよかった

大澤 何人くらい？

前井 22, 3人

大澤 構成は

前井 文学部2人 工学部一人 人間科学部1人

野村 男女比率も半々 分野は法学部おおいが、いろんな分野から ディスカッションも多様になる

前井 当日のディスカッションに関して 準備しているのだろうが、全然関係ないことを発言 ミキハウスとき 冒頭にみせたものに対してなかった 流れはなかった 学生内での講演に対して感じたことをするよう

金 聞いてないのになんで準備できる？ 準備することが安心なんだろうけど

野村 人生経験があれば疑問におもうのだろうが、学生では準備なしでは厳しいかも

金 どう改善するか

前井 純粹に感じたことを反応することがスピーカーにとってもよいのでは
例えば 営業行ったときに独りよがりになったが、相手の行動をかんがえたことにかんしてでも 物流のこととかの話は質問の押し売りでは？

大澤 講演者のよい生き方を学びたい どうして子供服を売りたいとおもったのか 自分の生き方を考えるために、相手のいき方を学びたい

木川田 MVP を聞けばよいのでは

前井 紫舟さんのとき 悩みを告白したとき相手それに反応し内面にかんして話してくれた

野村 年齢が離れすぎているのもあるのかも 木村社長だと年が離れていてピンとこないのかも 学生のほうから質問するのは難しいのでは 年上のかたから問いかけなかなければならない どんなことを聞くかの訓練が必要かも

大澤 年をとったひとならば、その歴史を聞くとか

野村 木村社長はどんな質問にも答えていた
木村社長の最初売れなかった話 押し売りではなく、相手の立場で考えることを発見
そこを話題にすると広がったのでは

前井 いろんな質問が単発でとんでいた

金 人の質問を聞いてないのでは

木川田 もうちょっと聞きたいのに全然関係ない質問をされるとよくない

野村 それはファシリテーターが調整すべき

前井 最初ファシリがなにも介入できなかったが、最後は介入できていた

野村 それは知識ないのでは お互いの利害を知って調整すべきなのに 自分の利害だけに焦点を当てる ここが大人でも難しい そのすごさに気がつかない 大人になると社会経験からわかるのかも 勉強しないとファシリテートができない 表面だけで勝負しているのでは

大澤 その場で語られていることに没入することが出発点として必要 他人事のように考えているのではよくない

野村 学会の質問は ところで・・・となってしまう 悪い例 相手に没入するにはがわかってない どうすれば没入できるのかという訓練が必要だが、そこをやると他の教員から反発がくる 教養を身につける前の素地ができていない なかなか教員に広まらない

金 木川田先生の講義に感銘をうけた ぜひ聴講したい
工学部のひとはコミュ力がない 自分のことを話すだけ 社会人の基礎力をつくるのか？
提案したい

野村 大学の講義が学生から元気をうばうという木川田理論 それを教員が認識していないのが一番の問題

木川田 受講態度ででる 前期は目を輝かせている 後期は目が死んでいる 半年で変わる

野村 最初は期待している

木川田 大阪大学の歴史という講義でオムニバス形式でやっていた
200人の学生 みんな最初からだれている みんな出口近くにいる
5、6人でグループを作らせようとするが、学生は作れない

野村 14回の講義で学生をそうさせた

木川田 自分の回の最初に怒鳴った

野村 教員の責任が大きい 偉い先生が多い？

木川田 そうです

野村 なんのためにその歴史をするのかがつめられていない

大澤 そのとおりだ

木川田 歴史をベースにみんなが歴史を作るということをテーマにした
自分が阪大時代にどう作っていくかを話し合わせようとしたが崩壊していた

野村 多くのクラスはその状態 まだ法律学だと体系だっているからまし
一回一回だと独立しているからそうになってしまう 教育改革をしなければならない

木川田 教員自身の努力 創意工夫

野村 まじめに15回教えるだけでどういうふうに教えるかを意識していない
われわれのやっていることは無力なのかな

木川田 そんなことはない 学生自身が気付いてくれば

野村 暴走教員が複数いる 木川田先生の与えた刺激を2, 3でも受け継ぐひとが必要
3、4年でも実践 GLでも木川田先生の受けたというひとがいる

野村 今くんなんかある

今 大学入る前にすごく期待していて期待を裏切られた もうちょっと早くそのような講
義に出会ってれば 他の学生もそう思っていると思うのでよろしくお願いします

木川田 今くん、唐木順三の本読むべき

大澤 ほんとうにそうです お世話になった人から紹介してもらった

前井 西日本リーダーシップという組織

海外に行き実際にリーダーシップを実践させるというプログラムをやっている

いろんな大学が実践させている

野村 また紹介してください

木川田 東大や京大とネットワークができればいい

野村 では

一同 ありがとうございます